

free School
since 2004
in Osaka

フリースクールみなも MinaMo 通信

2011年8月:第9号

■ゲーム制作部について

(南郷亜由美)

今年の1月から、みなもの利用者とスタッフの有志で、パソコンゲームを制作しています。

元々、代表の今川がRPG作成ソフト『RPGツクール』を使ってゲーム作りをするのが趣味で、興味を持った利用者と一緒に作っていたりしていました。ですが、集中して長時間作業できる環境(講座)が整ったこともあり、本格的に活動を始めました。興味のあるメンバーで集まって、まったりと作業したり、進捗状況を確認したり……講座(座学)というより、部活動のノリで楽しくやっています。

現在は、ノベルゲームと、RPGの2作品を作成中です。それぞれ開発チームがちがい、ノベルゲームで音楽担当の子がRPGではシナリオと演出を担当したり、自分のやりたいことにどんどん挑戦しています。

私は、ノベルゲームのシナリオを担当したので、ノベルゲームの開発を説明します。

まず最初に、担当者を、キャラクター原案(登場人物の設定を決める)、シナリオライター(ゲーム中の文章を書く)、グラフィッカー(キャラクターの絵を描く)、作曲家(ゲーム中に流れる音楽を作曲する)、演出家(ゲーム内での効果音や背景を決める)、プログラマー(すべてのデー

タをまとめてゲームの形にする)に分けます。個々の自由度を上げ、自分の感性・ペースで作業を行うためです。開発チームの人数が少ないと、兼業することがあります。第1回目のノベルゲームでは、キャラクター原案と作曲家、演出担当とプログラマーが兼業でした。

次に、全員で、世界観や登場人物を決めます。「その外見は凝りすぎて描けない」など、自分の得意不得意・ゲーム制作に割ける時間との兼ね合いなどを考えつつ意見を出します。好みと実力をすりあわせつつ、どんなジャンルの、どんなキャラクターが登場するゲームを作るかを決めます。

話し合いの結果、ゲーム制作部の処女作は、ファンタジー物の恋愛ノベルゲームになりました。使用ソフトは『吉里吉里』です。



全員で決めるべき事項を話し合った後は、基本的には、各自の作業になります。たとえば、シナリオ担当は、ひたすらシナリオを文章に書きおこします。進行報告用ブログもチェックしつつ、とにかく文章を書いてゆきます。区切りのいいところまで書き終えた原稿は、週に一度、講座の時間

にもうけたゲーム制作部ミーティングに提出し、出席者全員でチェックします。その際、セリフひとつとっても「このキャラクターは、こういう言い回しはしない」など、意見の相違があるのが当たり前です。大切なのは、意見の相違があったときに話し合うこと。自分の持っているイメージやこだわりを言語化して相手に伝えることを繰り返し、より良いものを作ってゆきます。全員のOKが出たら、晴れて脱稿。プログラマーにシナリオデータを渡し、わくわくしながら、ゲームの形になるのを待ちます。

実際にゲームを作ってみてわかったのは、「みんなで作るって、すごい」ということ。



文章だけではない。イラストだけではない。音楽だけではない。それらがすべて組み合わせり、相乗効果を生む。自分ひとりだとひとつのこと（私でいうなら、文章を書くこと）しかできないけれど、ひとつとひとつが重なって、文章や画像や音楽といった色々な要素を含んだ「ゲーム」ができあがります。

自分の作品に他の人の意見を加えて、更に精度の高いものにすること。だれかと一緒になにかをして、それが形になってゆくこと。

ひとりではできない経験を重ねながら、今日も楽しく、作業しています。



↑ノベルゲームのメニュー画面です

■外部団体との連携について

(松浦豊、今川将征)

みなもスタッフの間では、他団体との連携が必要なことは当初から念頭にはあったのですが、なかなかまなりませんでした。しかし、ここ1、2年でようやく本格的な連携を築くことが出来るようになってきた感があります。今回は、このネットワーク関係のあたりをご報告させていただきます。

●ふりー！ すくーりんぐ●

まずは、みなもが割と当初から参加していた、関西を中心としたフリースクール等のゆるやかなネットワークである「ふりー！ すくーりんぐ」があります (<http://freeschoolring.yukihotaru.com/>)。数ヶ月に一度、どこかのスクールで会合を持って情報交換をしたり、スクールのメンバー同士のスポーツ交流の機会を作ったり、年に一度は一泊交流会を催して来たりしました。

この「ふりー！ すくーりんぐ」のまとめ役を長年してこられたスロースペースラミの小野さんがその役を降りられるという事で、今後みなもの松浦がまとめ役となる事になりました。今後の活動方針についてはまだ話合いの途中なのですが、多くの団体にとって実りあるネットワークを作っていきたいと考えています。



● 関西民間スクール連携 SNS ●

「ふりー！ すくーりんぐ」とやや重なる形で、「関西民間スクール連携 SNS」（SNS ……ネット上で知り合い同士が情報交換などで交流できるシステム）というのも主催しています。民間スクール同士で人材・モノ・情報・イベントなどを共有・融通していくために、その情報を集められる場所という位置づけです。（興味を持たれた方がおられましたら、みなも宛のメールなどで松浦にご連絡下さい。招待メールを送らせていただきます）

また、2011 年度からは、月に一度大阪市内で民間スクールスタッフ同士の懇親会を定期開催するように調整していて、そこからも多くの団体の方々との繋がりが期待できると感じています。

● おるたねっと関西 ●

次に、「おるたねっと関西」への参加があります。「おるたねっと」は、『既存の学校教育とは異なる教育ができる学校』の設立が公的に可能になる様に働きかける団体です。関西でも数ヶ月に一

度交流会を持ったり、リアル熟議のイベントを開いたりしています。（みなもHPの掲示板にて、呼びかけなどを行っています。時々チェックしてみてください）

● フリースクール全国ネットワーク ●

みなも開設当初から加盟している全国のネットワーク団体です。

ここ数年、このネットワークではフリースクール等、既存の学校とは違う新しい教育を公式に認める「オルタナティブスクール新法」の国会への法案提出・成立に向けた活動を行っており、代表・今川も随時会議に参加しています。

現在、この法案の提出に先立ち、全国の教育関係者に意見を伺っている段階です。その法案について、以下のサイトにて閲覧ができます。

<http://aejapan.org/wp/>

● オルタナ研究会 ●

NPO 法人関西子ども文化協会が中心となり行っている有志の勉強会で、フリースクールに限ら

ず教育に関する新しい取り組みについて考える集まりです。各方面の教育を行っている方を招いての講演会を開催する等の勉強会的な活動のほか、2010年12月12日にはシンポジウム「教えない教育—こどものこえをきく—」を開催しました。今年度も引き続き活動を継続する予定です。

●大学のインターンシップとの連携●

ボランティアについて、大学のインターンシップとして来ていただくケースが増えています。2010年度より大阪ボランティア協会の紹介で、大阪経済大学の学生さんを受け入れているほか、NPO法人JAEの紹介により1名、今でも現役でボランティアを続けていただいています。

●連携の必要性について……●

他団体との連携の「必要性」についても、以前よりもその「必要性」の度合いを深く感じています。「フリースクールみなも」はまずは不登校の子どもの居場所であり、学習もできたり色々な人と出会える場所として設立され、運営されていますから、「居場所機能」「学習機能」に関しては一定以上の水準を確保していると自負しています。ですが、鬱や対人恐怖などの精神疾患や障がいに関しては専門ではないため、残念ながらできる事は非常に限られてしまいます。

また、フリースクールというものの自体が（どこのフリースクールでも）、スタッフと集っている子ども達のキャラクターなどによってそれぞれが非常に個性的になる傾向があります。しかしフリースクールに入会してくる子のニーズは様々ですから、通っている一つのフリースクールだけではニーズを満たせないという事がままあるのです（特に人数や対戦相手が必要なスポーツなどではそれが顕著です）。

それらの解決の一つの方策が、他団体との連携であると考えています。他の専門的な団体に助けを頂いた方がよいことや、可能な人的交流に関し

ては、積極的に動いていくこと。あるいはお互いの業務内容で参考に出来る事を教え合ったり、モノや人を融通すること。イベントや知恵を共有すること。これらの事が、このフリースクール業界（とその周辺）において、非常に重要な事だと。

今後も、フリースクール本体とのバランスを取りながら、有益な連携を図っていける様努力していきたいと考えています。

● みなも運営レポート

（今川将征）

こんにちは、今川です。今回は2011年度第1四半期（4～6月）の運営をレポートします。

4～6月期 1ヶ月の主な収支

収入		支出	
フリースクール 事業収入	327,000円	スタッフ報酬	415,000円
サポート校 事業収入	287,000円	フリースクール 家賃	157,500円
		事務室家賃	30,000円
		フリースクール 水道光熱費	12,292円
		事務室 水道光熱費	4,800円
		フリースクール 交通費補助	47,854円
		電話代	2,654円
		フリースクール インターネット	7,010円
		事務室 インターネット	2,500円
		消耗品費	7,129円
		印刷費	10,768円
		広告宣伝費	5,155円
計	614,000円	計	702,662円

※各項目は2011年4月～6月平均

臨時収支

収入		支出	
入会金収入	100,000円	火災保険更新料	69,000円
賛助会費収入	71,000円	エアコン購入費	72,500円
		事務室 仲介手数料	26,250円
		事務室 カギ付け替え	17,850円
		法人税	86,100円
計	171,000円	計	271,700円

今回よりやや詳細な報告として、1ヶ月の主な収支と、臨時的な収支を分けてご報告致します。

まず、月々のランニングコストで大きく変わったのは、4月半ばより事務室を新たに借り足したことです。これまで事務室としていた3階洋室は学習専用の部屋となり、その代わりに、同じ東寺町ビルの5階に、事務専用の部屋を追加しました。

またスタッフへの報酬を増額しました。今川・松浦が月12万、中居が月10万、その他これまで「無給スタッフ」として手伝ってもらっていた上船・南郷・末吉に月2万、親の会担当の中村有美に月1万5千円支給しています。

上記のように、今年度の支出予算は大幅に増額しており、やや「挑戦的な」予算組みとなりました。その根拠としては、サポート校コースの導入により安定した収入が増加したこと、また通信制高校との契約料が入ること、またフリースクール部門も、これまで安定して人数が増加していることを鑑み、若干の人数増加を前提として予算を組みました。そのほか、今期は積極的に助成金の申請を行っていきます。

またこの四半期の臨時支出としては、火災保険の更新や法人税の支払いは予定通りですが、その他に1階のエアコンを新たに買い足しました。こちらについて、今期の皆様からの賛助会費より購入させていただきました。謹んで御礼を申し上げます。これにより、すべてのフロアにエアコンが完備されました。

◆ みなもかわらばん

➤ ありがとうございます

2011年度4～6月の間に、いただいた活動資金や物品のご支援は、下記の通りです。ここに記して、感謝申し上げます。

・事務用家具多数…新しい事務室で使用する書棚、机などを多数いただきました。

➤ 賛助会員・カンパのお願い

フリースクールみなもは、不登校の子どもたちのための、学校に代わる居場所と学びの場を設け、不登校の子どもを持つ家庭への総合的な支援を行うことを目指して、有志によって設立されたNPO法人（特定非営利活動法人）です。子どもたちやその保護者・家庭にとっての支えとなるべく、スタッフ一同、活動の充実に日々努めています。

しかしながら、もとより営利を目的とした事業ではないので、こうした資金だけで行える活動には、限りがあります。そこで、みなもの活動を応援して下さるかたには、賛助会員への応募をお願いしています。賛助会員の皆さまには、「みなも通信」をお送りさせていただきます。

賛助会費のお支払いは、スタッフに手渡し、または郵便振替で。郵便振替の場合は、「氏名」「住所」「電話番号」「費目（賛助会費として）」「会報への氏名掲載の可否」を備考欄に明記の上、下記の口座まで、お願いいたします。

【賛助会費】1口 3,000円/年（複数口のご応募も歓迎）。振込先：00960-0-204146（加入者名：フリースクールみなも）

➤ 譲ってください！

現在、必要としているのは、下記の通りです。ご家庭にあるもので、現在お使いになっていないものがありましたら、みなもまでご連絡ください。（それ以外にも、フリースクールの活動に役立ち

そんなものがあれば、ぜひご一報ください。

【必要なもの】グローブ／練習用のドラムセット／ベース／アンプ／録音周辺機器（ケーブル、ミキサーなど）／書籍／硬式テニスのボール／各種文房具・事務用品／切手など

➤ ボランティア募集！

フリースクールみなもでは、ボランティアを募集しています。ボランティアをするにあたっては、特に必要な資格などはありません。子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしたい、という気持ちがあれば OK です。ご関心をお持ちの方は、お気軽にみなもまでお問い合わせください。

➤ 「まんま会」のご案内

フリースクールみなもでは、原則毎月第3土曜日に「みなものまんま会」（不登校の子を持つ親の会）を開いています。「まんま会」は、不登校のお子さんを持つ保護者の皆さんに、お互いの気持ちを共有し合える場を提供することを目指した会です。みなもの会員であるかどうかにかかわらず、どなたにでも参加していただけます。参加をご希望の方は、ぜひお気軽にお問い合わせ下さい。

【概要】 日時：毎月第3土曜日の14:00～16:30、
場所：フリースクールみなも、参加費：500円
（お茶菓子代として）、アドバイザー：中尾安代さん（みかんさん＝結空間代表）、担当スタッフ：中村有美

➤ ブログ・掲示板のご紹介

みなもでは、日々のようすを写真付きでブログに書きつづっています。みなも内のようすや外出した時の話、みなもの中で話題になったこと、それから「まんま会」のようすやシンポジウムなどに関する事なども書いたりしています。

また、みなものホームページでは、2つの電子掲示板（BBS）を設置しています。もしよろしければ、一度ご覧ください。書き込みもお気軽にどうぞ。

◆ スタッフひとこと

事務室にエアコンが入った～。これで業務効率が上がる??（今助）▼ボードゲーム雑誌にナポレオン関係の歴史記事の寄稿を頼まれたため、関係洋書を読みまくってます（でっせむ）▼アナログテレビ放送が終了しましたね。地デジ化ってやつですね。そして、その日は私の誕生日でもありました。ということは、中居もデジタル化…（なかい）▼最近、友人に「モンハンうまくなったね」と言われました。みなもで鍛えられた成果です！みんな、ありがとう！（すえよし）▼みなも近くに、炭火焼きコーヒーのお店があります。落ち着いた内装に、あたたかくて丁寧な対応の店員さん、豆の香り…調和のとれた店内がとても素敵です。あのお店に似合う、大人の女性を目指します！（マイヤ）▼今一番熱いカードゲームは、ヴァンガードです。みなもではまだ4人ぐらいの規模ですが、これから広めていきます！（いぶき）

『フリースクールみなも通信』第9号

発行日：2011年8月2日（本号6頁）

発行者：特定非営利活動法人フリースクールみなも（理事長・今川将征）編集担当：松浦 豊

○特定非営利活動法人 フリースクールみなも
（2005年6月15日認証＝大阪府指令府活第2-58号）

会員（利用者）：25名（2011年7月現在）

代表：今川将征（理事長）

スタッフ：常勤3名、非常勤4名、ボランティア数名

オープン日：2004年11月1日

住所：〒530-0036 大阪市北区与力町2番8号
東寺町ビル1F（地下鉄「南森町」駅から徒歩3分、
JR東西線「大阪天満宮」駅から徒歩3分）

電話・FAX：06-6881-0803

対象年齢：6歳～18歳

活動時間：月曜日から金曜日の11時～20時